

アジア経済論4.0

ーキャッチアップ型工業化論から デジタル経済論へー

〈講演趣旨〉デジタル経済の進展により、現在、世界経済はもとより、アジア経済も大きな構造転換のなかにある。いまのアジア経済をどう理解したらよいか、アジア経済研究の第一人者が、大胆かつ緻密な分析に基づく、新しい「アジア経済論」を提唱する。

末廣 昭

(すえひろ あきら)

1951年、鳥取県米子市に生まれ。1976年、東京大学大学院経済学研究科修士課程修了。アジア経済研究所(1976年～、研究員)、大阪市立大学経済研究所(1987年～、助教授)、東京大学社会科学研究所(1992年～、助教授、教授、所長)を経て、現在は、学習院大学国際社会科学部教授(2016年～、初代学部長)。2010年、紫綬褒章(東南アジア研究)受章、2018年、福岡アジア文化賞(学術研究賞)受賞。

日時: 2019年1月25日(金) 16:00～17:30

会場: 北海学園大学D31教室(7号館3階)

参加無料(申込み不要) 対象: 大学教員、学生・院生、アジア経済に関心のある方

問い合わせ: 北海学園大学開発研究所 TEL:011-841-1161(内線:2254) e-mail:kaihatsu@hgu.jp

